

2年1組 ( ) 番  
氏名 ( )

## 2学年 社会 休校中の課題 12 小平作成

1 NHK for School のホームページをひらき、番組名「10min.ボックス日本史」の中から



「ヤマト政権による統一国家の成立」を視聴する。(10 分間)

次の URL を参照して検索してもよい。

[https://www.nhk.or.jp/syakai/10min\\_nihonshi/?das\\_id=D0005120302\\_00000](https://www.nhk.or.jp/syakai/10min_nihonshi/?das_id=D0005120302_00000)

2 視聴した後、教科書 p26.-p.33 を声に出して読む。(音読するのが大事！)

3 次の確認問題を解きましょう。(下の口に解答があります。最初は見ないで解きましょう。)

(1) 日本の各地に前方後円墳がつくられたことは、どのようなことを意味していますか。

[ ]

(2) この頃の日本と中国や朝鮮半島の人々はどのような関係でしたか。

[ ]

(3) 聖徳太子が設けた冠位十二階の制度はどのようなことを可能にしましたか。

[ ]

(4) 十七条の憲法にある「詔を承りては必ず謹め」から、この憲法はどのようなことを示そうとしたと考えられますか。

[ ]

(5) 遣隋使は誰が何のためにどこの国へつかわしたのか説明しなさい。

[ ]

4 答え合わせをしましょう。わからないところや疑問が残ったところがあれば裏面に書きましよう。(後で自分で調べたり、小平に質問したりして解決できます。)

**解答** ※答え方は複数考えられます。以下の解答例を参考に自分の解答を見直してみましょう。自分の解答で不安だったり、わからなかったりする時は、裏面にメモしておき、調べたり小平にききましょう。

(1) 例1: 多くの材料と労力を必要とする古墳づくりが可能な、富と権力をもった支配者(豪族)が各地に現れたことを意味している。

例2: 各地の豪族がヤマト王権に従うようになり、大きな墓をつくることを許されたと考えられる。

例3: 大和地方に成立したヤマト王権の支配が全国に広がったと考えられる。

(2) 例1: 戦乱の多い中国や朝鮮半島から移住していた人々は「渡来人」とよばれ、人々に須恵器の作り方や機織や漢字など、多くの知識や技術を伝えた。

例2: ヤマト王権は鉄を手に入れるため中国や朝鮮半島の国々をつながりを強めようとした。

(3) 例: 家がらにとらわれず、有能な人を役人に用いることができるようになった。

(4) 例: 天皇中心の国づくりをすすめるための役人の心得を示そうとした。(天皇の命令に従うこと)

(5) 例: 聖徳太子が、隋の進んだ政治のしくみや文化を取り入れるため、隋につかわした。